

## 北陸が誇る、雄大と神秘。

富士山と並び、「日本三名山」に数えられる立山と白山。

日本を代表する二つの山が身近にあることは北陸に暮らす私たちの誇りです。

その美しさと豊かな自然で、日本全国のみならず海外の人々の心も

魅了してやまない立山と白山へ、この夏でかけてみませんか。

### 立山 数多くの「日本一」を誇る山岳観光地

「立山」という名の山はなく、雄山・大汝山・富士ノ折立の総称。国立公園に指定された豊かな自然や落差日本一（350m）の称名滝、2012年に国内で初めて認定され極東最南端と話題になった氷河、高山植物があふれる日本最高所の弥陀ヶ原高原など、ここでしか見られない観光資源が数多くあります。国内で最も標高の高い室堂駅やみくりが池温泉施設があるのも立山の特徴で、日本随一の山岳観光地となっています。

#### 見どころ PICKUP

##### 弥陀ヶ原

「餓鬼の田」と呼ばれる小さな池が密集した景観が広がる。2012年ラムサール条約登録。

##### みくりが池

室堂平にある約1万年前に形成された周囲600m、水深15mの火口湖。「御厨ヶ池」と書き、神様の台所という意味。

### 白山 豊かな自然をそのまま残した国立公園

こちらも「白山」という山はなく、御前峰・大汝峰・剣ヶ峰の三主峰と周辺の山々からなる連峰を指します。石川・福井・富山・岐阜の四県にまたがる山麓一帯は白山国立公園に指定されており、人の手が加わることを最小限に抑えて保護された豊かな自然が魅力です。登山コースが多いのも特徴で、高山植物群落地や高山帯の野生動物、大小七つの火口湖などを狙って、国内外から多くの登山客が足を運びます。

#### 見どころ PICKUP

##### お池めぐり

頂上部にある七つの湖を周回する「お池めぐり」は登山客に人気が高いコース。

##### 高山植物のお花畑

頂上付近は7～8月ともなると高山植物が一面に咲き誇る見事な景観が広がる。

## 北陸は、自然への感謝の気持ちを強く持っている土地柄だと思います。

### 山は、畏敬の念を抱く存在

北陸には、講演会や旅番組のレポーターの仕事などで何度も訪れています。初めて富山県に足を運んだ時は、眼前に迫ってくる立山連峰の雄大な景色に圧倒されました。思わず、山々にひれ伏してしまうような、自然の巨大さに言葉も出ませんでした。ヒマラヤの麓の村を訪れたときに憶えた、山の存在に気押される感覚を思い出しました。

山登りも相撲と似ているところがあると思います。険しい山道を一歩ずつ登って、頂上を目指すところは、力士が横綱を目指して番付を駆けあがっていく姿に相通じるものがあります。その道のりは、決して単調ではなく、次の足場確保や天候に苦しむなど、様々な道をもがきながら登っていき、そして辿りついた頂上からの景色は、登った人でなければ見られない景色です。頂上に君臨する横綱が見ている情景というのも、その地位にまで上り詰めた人しかわからない境地があるのではないのでしょうか。

相撲の四股名には、育った地元の山や海に由来するものを名付ける場合が多いです。これも、自然の持つ雄大さや偉大な力にあやかりたいという、自然への畏敬の念から発生していると思います。現役当時、石川県出身の琴白山関に勝つことができませんでした。白山からの山の力が両国国技館に伝わったのかもしれないね。

### 北陸に根付く食文化、その豊かさ

北陸を訪れる楽しみは、何といっても食べ物が自分の好みと合っていることです。昆布の味や香りが大好きで、昆布締めやとろろこんぶなどの上品な香りに心躍ります。また好物のかぶらずしも家々によって味が違うと聞いたので、一軒一軒まわって味見したいぐらいです。北陸の保存食は、奥深い味わいで、発明した先人の知恵に驚かされます。へしこ、こんかいわしなども、お酒のつまみとして毎日でも食べたいです。炙っていただいたり、お茶漬けにしたりと多彩な食べ方も魅力ですね。

これもやはり、北陸の山々を水源とした清らかな水が地上に流れてきて、その水で育ったお米や魚だからこそ、これほどまでに美味しくなるのではないのでしょうか。食が豊かなのも自然のおかげだと思います。

### 質実剛健とした美観に心揺さぶられます

高校三年生のインターハイは石川県七尾市の愛宕山相撲場で行われ、予選落ちしました。私の出身の青森県は相撲が盛んな土地で、予選落ちというのはふがない成績なのですが、大学四年生のときには、全日本大学選抜大会が同じ相撲場で開催され、準優勝することができました。リベンジを果たすことができた思い出深い場所でもあります。こうして、引退後に北陸に何度も訪れる機会があるのも不思議な縁で繋がっているからかもしれません。

北陸に行く度にすごいと思うのは、古民家が街や田舎にも残っていて、それが自然と美しい景観を醸し出しているところです。派手さはないですが質実剛健とした、本当に趣ある景色で、この土地に住む皆さんがうらやましいです。北陸の風土や暮らしぶりを見ると、山、海、川など自然の恩恵に感謝の気持ちを強く意識している土地柄だと感じました。だからこそ、これだけの素晴らしい景観や食文化を残しているのではないのでしょうか。私もこの自然への感謝の気持ちというのを胸に刻みながら、日々の生活を送りたいです。

### 立山と白山、どちらにも「室堂」がある理由

立山と白山のどちらにも、山頂の手前には「室堂」と呼ばれる場所があります。どうして二つの山に同じ地名がついているのでしょうか。

実は、かつて「室堂」を持つ山は日本全国にたくさんありました。古来日本人にとって山は信仰の対象であり、登山は宗教的な儀式でした。山頂への参拝者が山を登り、直前に宿泊する山小屋（室）のある場所が「室堂」と呼ばれていたのです。

明治以降にレジャーとしての登山が広がり、「室堂」の名は全国山々から消えていきました。立山と白山にその名が残ったのは、社会が近代化してもなお、それぞれの山が地域の人たちにとって強い畏敬の念を抱く対象であったことが理由のひとつと考えられます。

今に伝えられる二つの「室堂」は、自然の豊かな恵みと豊富な水をもたらし、地域の生活を支えてきた立山と白山を、人々が尊ぶ気持ちの証だと言えるかもしれません。

(上)日本最古の山小屋 立山室堂  
(下)白山室堂センター



今回のゲスト

NHK大相撲解説者/スポーツキャスター

## 舞の海 秀平さん

(まいのうみ・しゅうへい)

1968年青森県生まれ。大相撲現役時代は多彩な技を持つ力士として国民的な人気を得た。現在はNHK大相撲解説者・スポーツキャスター・タレントとして活躍し、多くのテレビ番組に出演、執筆活動も精力的に行っている。2011年度からは近畿大学経営学部客員教授も務める。